

新医第562号(業)  
令和2年1月16日

新潟県民医療推進協議会関係団体の長 様  
郡市医師会長 様

新潟県医師会長  
渡 部 透

第8回新潟「スフィア研修～災害支援の国際基準研修～」  
受講生募集について

標記につきまして、新潟大学医学部災害医療教育センターより開催の連絡がありましたので別添のとおりお知らせいたします。

つきましては、貴会会員への周知方ご高配いただけますと幸いです。

なお、本件の詳細については直接、新潟大学医学部災害医療教育センターへご照会ください。



令和2年1月10日

新潟県医師会長  
渡部 透 様

新潟大学医学部災害医療教育センター長  
染矢 俊幸

第8回新潟「スフィア研修～災害支援の国際基準研修～」  
受講者募集案内について（依頼）

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別の御高配を賜り御礼申し上げます。  
さて、本センターでは、標記研修会の開催を下記のとおり予定しております。  
大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、貴会管下の医療機関ならびに新潟県民医療推進協議会の  
構成団体における災害医療関係者への周知について、御配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

- 開催日時  
令和2年2月29日（土）10:00～17:00（予定）  
令和2年3月1日（日） 9:00～16:00（予定）
- 場 所  
新潟医療人育成センター（新潟大学旭町キャンパス内）
- 研修内容  
別紙『第8回新潟「スフィア研修～災害支援の国際基準研修～」開催要領』をご参照ください。

【本件にかかる連絡先】

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地  
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 内山  
TEL: 025-227-2033 FAX: 025-227-2167  
E-mail: disaster@med.niigata-u.ac.jp



## 第8回新潟「スフィア研修～災害支援の国際基準研修～」開催要項

新潟大学医学部災害医療教育センター

### 1. 目的

国内外の災害、復興、開発現場での活動の質をより高めるために、支援活動に関わる者が、人道・緊急支援の質とアカウンタビリティに関する国際基準の成り立ちや諸原則についての基礎的知識を身につけ、各自の活動などに活用につなげること。

### 2. 背景

近年、海外の大規模災害や紛争時の支援現場では、人道支援を行う際に参照すべき視点や対応方法をまとめた「スフィア基準」のような国際基準が活用され、支援の質を高める努力がなされています。

しかし、東日本大震災の支援において、こうした国際基準に基づいた活動はほとんどなせず、劣悪な環境で避難生活を送る多くの被災者に災害関連健康被害が発生し、災害関連死につながりました。その反省を受けて、現地のニーズに合った支援、現地関係者の意見の反映、脆弱な立場にある人々をさらなる危害にさらさないために、関係者への説明責任、団体間の連携や協力、スタッフの安全確保など、支援のあり方が見直され、今後の災害支援等の現場で活かされる必要があります。わが国（内閣府（防災担当））でも、平成28年4月に発表した「避難所運営ガイドライン」の中で、「人道憲章の枠組みに基づき、生命を守るための主要な分野における最低限満たされるべき基準」がまとめられた文書として「スフィア・ハンドブック」を紹介しています。さらに同ガイドラインでは、「今後の我が国の「避難所の質の向上」を考えると、参考にするべき国際基準となります。」と記載しています。

（[http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo\\_guideline.pdf](http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_guideline.pdf)）

こうした支援の質とアカウンタビリティの向上を推進するために、2015年7月に支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）が設立され、国際社会における人道支援諸原則、基準類の普及、提言、人材育成、発信などが行なわれています。

新潟で8回目となる本研修は、2018年に発行された（邦訳版は2019年発行）最新版の「スフィア・ハンドブック（第4版）」をテキストとします。

### 3. 研修の目標

- 1) 国内外の人道・開発支援、防災に関わる者が知っておくべき国際基準の一つ「スフィア基準」について、その理念と構成、使用法などを習得すること。
- 2) 参加者間のネットワークを形成すること。

### 4. 主催・共催・後援

- ・ 主催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- ・ 共催 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）  
日本ファーストエイドソサエティ（JFAS）
- ・ 後援（申請中） 新潟県、新潟県医師会

5. 日時 2020年2月29日(土) 10:00-17:00  
2020年3月1日(日) 9:00-16:00

6. 会場 新潟医療人育成センター <http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/nmp/>  
(新潟県新潟市中央区旭町通一番町757 新潟大学旭町キャンパス内)

7. 内容・プログラム(予定) 講義、グループディスカッション、ロールプレイなど

1日目 (2月29日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の質とアカウンタビリティ(Quality &amp; Accountability (Q&amp;A))とは</li> <li>・スフィア・ハンドブックの概要(1)</li> <li>・人道支援の必須基準(GHS)の概要、演習</li> </ul>
2日目 (3月1日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スフィア・ハンドブックの概要(2)</li> <li>・演習</li> <li>・アクションプランの作成 等</li> </ul>

8. テキスト 「スフィア・ハンドブック(第4版)」

1997年人道援助を行うNGOのグループと国際赤十字・赤新月運動によって、スフィア・プロジェクトという災害援助における行動の質を向上し、説明責任を果たすために必要な人道憲章の枠組みづくりと、生命を守るための主要4分野における技術的基準が取りまとめられました。

「スフィア・ハンドブック」はその成果物として、人道憲章、権利保護の原則、支援時のコア基準、4分野の技術的基準が取りまとめられ、改訂されてきました。現在の最新版は2018年発行の第4版です。

(※受講者には研修当日に日本語版の冊子を配布します。)



9. 講師

- 1) 五十嵐 豪 (いがらし ごう) AAR Japan (特定非営利活動法人 難民を助ける会)
- 2) 岡野谷 純 (おかのや じゅん) 特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ
- 3) 佐藤 栄一 (さとう えいち) 新潟大学医学部災害医療教育センター

10. 参加対象者・人数

- 1) 対象 医療関係者、行政関係者、救護関係者(消防、警察、海上保安庁、自衛隊など)、国内外で活動するNGOスタッフ、国内で支援活動をするNPOや団体に所属する方、災害時にボランティアスタッフとして活動する意向のある方など、人道・緊急支援に携わっている方、またはその予定がある方

- 2) 人数 27名程度

10. 参加費 10,000円(テキスト、資料代、郵送費など)

11. 受講者募集 2020年1月10日(金)~2020年2月4日(火) 12:00

以下のURLまたはQRコードからご登録ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/e24edd0b115896>



12. 採否の連絡 2020年2月7日(金)までにご本人宛メールアドレスに連絡します。

13. その他

- 1) 受講採用者には、研修2週間前をめど(前後する恐れがあります。)に開催案内と一緒に事前学習をご案内します。事前学習は研修効果を上げるうえで必須としておりますのでご協力をお願いします。

2) 研修中の昼食は、ご自身でご用意いただきます。ご了承ください。

**【本件に係る問い合わせ先】**

新潟大学医学部災害医療教育センター

佐藤栄一（さとうえいいち）

〒951-0810 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757

電話 025-227-0827 / FAX 025-227-2036

E-Mail [alsato@med.niigata-u.ac.jp](mailto:alsato@med.niigata-u.ac.jp)